

● 診療科の特色

1. 皮膚腫瘍の診断・治療 : ダーモスコピー、皮膚超音波検査などの非侵襲的検査や生検によって診断を行います。疾患によっては他施設と連携して遺伝子診断も行います。特に悪性腫瘍では、画像診断や早期のリンパ節転移を同定するセンチネルリンパ節生検などを用いて、病状や進行度を正確に把握したうえ過不足のない適切な治療をこころがけます。外科的治療が中心となりますが、病状に応じて放射線療法、抗がん剤治療を適用します。進行期皮膚悪性腫瘍に対しては分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬などの新規治療が次々と適応となってきました。
2. 皮膚外科手術・処置 : 外科的治療を要する皮膚疾患の治療に積極的に対応しています。良性および悪性の皮膚腫瘍、母斑、重症軟部組織感染症、膿皮症、などが適応となります。
3. 難治性皮膚疾患(自己免疫性水疱症、乾癬、掌蹠膿疱症、重症アトピー性皮膚炎、脱毛症、など)の診断・治療 : 視診に加え、皮膚病理組織検査、蛍光抗体検査、血清学的手法などで診断します。遺伝性皮膚疾患では遺伝子診断も行われます。疾患によっては薬物療法のほか理学療法(紫外線療法:PUVA, narrow-band UVB, エキシマライト, など)も併用して治療します。従来より重症乾癬、関節症性乾癬、などでは生物学的製剤や分子標的薬による治療が行われていましたが、最近では重症じんま疹、重症アトピー性皮膚炎、掌蹠膿疱症、化膿性汗腺炎、結節性痒疹など様々な難治性皮膚疾患に対しても生物学的製剤や分子標的薬の適応が広がっています。
4. 皮膚病変を伴う全身性疾患の診断・治療 : 膠原病、血管炎、血液疾患、など皮膚病変を伴う全身疾患の診断と治療に当たります。しばしば皮疹が全身疾患診断の糸口になります。
5. 他科疾患の皮膚合併症への対応 : 皮膚感染症や薬疹など、他科領域の患者さんに生じた皮膚合併症や皮膚トラブルに対応し、検査・診断・治療を行います。
6. 皮膚科の救急的疾患への対応 : 感染症(細菌、ウイルス)、急性炎症性皮膚疾患、などに対応します。年間 50-60 例の救急患者に対応し、その大多数が入院加療しています。
7. 新生児、小児皮膚疾患への対応 : 小児科と連携し、皮膚炎、感染症(ウイルス、細菌)などの一般的疾患の他、遺伝性疾患、膠原病、などの診断と治療に関わります。
8. 皮膚病理診断 : 皮膚病理診断に重点を置き、病理部と連携して正確な診断を心がけます。
9. アレルギー検査 : パッチテスト、プリックテスト、MED(最小紅斑量)測定、など

● 診療実績

1. 主要手術件数(手術室で施行したもの) 年間手術件数:221 名

疾患	症例数
良性腫瘍、母斑	104
悪性腫瘍	67
細菌感染症	17
皮膚潰瘍等	9
その他	24

2. 入院主要疾患 臨床統計 年間入院件数:204 件

疾患	症例数
悪性腫瘍	58
良性腫瘍、母斑	21
細菌感染症	44
ウイルス感染症	14
薬疹、アレルギー	11
熱傷・外傷	7
水疱症、膿疱症	7
皮膚潰瘍等	6
皮膚炎・紅斑症・蕁麻疹	4
褥瘡	4
膿皮症	4
その他	24

3. 特殊検査法・治療

検査・治療	件数
外来処置室での手術	77
皮膚生検	436
紫外線療法	425
ダーモスコピー	321
皮膚超音波検査	173
パッチテスト	15
プリックテスト	2
MED 測定	1

● 研究業績

論文

- 1) Tokuda M, Kawakami Y, Hirai Y, Tachibana K, Nakagawa Y, Sugihara S, Miyake T, Yamasaki O, Manabe K, Morizane S
Cutaneous Pseudolymphoma Caused by an Injury with a Metallic Piece of a Mowing Machine Containing Tungsten
Indian J Dermatol, 68, 4, 468-71, 2023, JUL-AUG
- 2) Fukuda S, Hagiwara S, Okochi H, Ishiura N, Nishibe T, Yakabe R, Suzuki H.
Autologous angiogenic therapy with cultured mesenchymal stromal cells in platelet-rich plasma for critical limb ischemia
Regenerative Therapy, 24, 472-478, 2023, SEP, 21
- 3) 藤田 周作, 瀧川 充希子, 大倉 隆宏, 石橋 脩一, 末延 耕作, 玉井 圭, 井上 拓志, 亀田 雅博, 浅越 健治
先天性巨大色素性母斑に対する curettage の施行例
皮膚外科学会雑誌, 27, 1, 66-67, 2023/6/1

- 4) 浅越 健治
点状角質融解症 : pitted keratolysis
Visual Dermatology, 22, 9, 885-886, 2023/8/25
- 5) 藤本 倫代, 芦田 日美野, 石井 芙美, 浅越 健治, 神農 陽子, 横尾 賢, 福田 能丈
左上腕に生じ皮下血腫と鑑別を要した脱分化型脂肪肉腫の 1 例
岡山医療センター年報 19, 1, 320, 2023/12/1
- 6) 長江 桃夏, 清水 慎一, 若槻 俊之, 梅川 剛, 上西 陽介, 佐柿 司, 永原 華子, 福本 康史, 古立 真一,
万波 智彦, 芦田 日美野
ペムプロリズマブ投与中に水疱性類天疱瘡を発症した上行結腸癌の 1 例
岡山医療センター年報 19, 1, 319, 2023/12/1
- 7) 谷口 もこ, 岩本 佳隆, 岡本 啓典, 服部 瑞穂, 竹山 貴久, 齋藤 崇, 濱口 保仁, 福田 能丈, 重歳 正尚,
石井 芙美, 金光 喜一郎
マイコプラズマ肺炎との鑑別を要した成人多系統炎症性症候群(MIS-A)の 1 例
岡山医療センター年報 19, 1, 322, 2023/12/1
- 8) 水田 康生, 瀧川 充希子, 眞部 恵子, 浅越 健治
左母趾に生じた verrucous skin lesions on the feet in diabetic neuropathy (VSLDN) の 1 例
西日本皮膚科, 86, 1, 35-38, 2024/2/1
- 9) 浅越 健治, 藤澤 康弘
皮膚血管肉腫の診療ガイドライン
皮膚科, 4, 1, 103-108, 2023/7

学会発表

- 1) 肝硬変に伴う凝固因子欠乏により出血傾向を示し、術後出血コントロールに難渋した鼻背基底細胞癌の 1 例
浅田 志乃舞
第 289 回日本皮膚科学会岡山地方会 2023 年 5 月 20 日
- 2) Subungual seborrheic keratosis の 1 例
藤田 周作
第 289 回日本皮膚科学会岡山地方会 2023 年 5 月 20 日
- 3) シロリムス内服にて加療した Kaposiform hemangioendothelioma の 1 例
芦田 日美野
第 122 回日本皮膚科学会総会 2023 年 6 月 1 日
- 4) 爪甲縦線・縦溝・縦裂を呈した爪床爪母の上皮性良性腫瘍の 3 例
藤田 周作
第 38 回日本皮膚外科学会総会・学術集会 2023 年 7 月 22 日
- 5) 鼠径部センチネルリンパ節に benign mullerian glandular inclusions を認めた外陰部乳房外 Paget 病の 1 例
石井 芙美
第 39 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会 2023 年 8 月 4 日
- 6) 乳児の舌に異物の堆積と黒毛舌を生じた 1 例
藤田 周作
第 290 回日本皮膚科学会岡山地方会 2023 年 9 月 3 日
- 7) COVID-19 ワクチン接種後に再燃した汎発性膿疱性乾癬の 1 例
横溝 紗佑里
第 290 回日本皮膚科学会岡山地方会 2023 年 9 月 3 日
- 8) Congenital Melanotic Macule of the Tongue の 1 例

- 浅田 志乃舞
第 290 回日本皮膚科学会岡山地方会 2023 年 9 月 3 日
- 9) ダウン症候群患者に発症した斑状皮膚萎縮症の 1 例
石井 芙美
第 75 回日本皮膚科学会西部支部学術大会 2023 年 9 月 17 日
- 10) 間質性肺炎を合併した汎発型斑状強皮症の 1 例
横溝 紗佑里
第 291 回日本皮膚科学会岡山地方会 2024 年 1 月 20 日
- 11) 末梢性 T 細胞リンパ腫(PTCL-NOS)患者の経過中に紅皮症を合併し、皮膚リンパ腫との鑑別を要した 1 例
藤田 周作
第 9 回皮膚リンパ腫症例検討会 2024 年 1 月 27 日
- 講演、研究会
- 1) Cross Allergic Webinar in MIMASAKA～専門領域を超えたアレルギー疾患へのアプローチ～
浅越 健治
Cross Allergic Webinar in MIMASAKA 2023 年 4 月 6 日
- 2) アトピー性皮膚炎のトピックスと新しい治療
浅越 健治
御津医師会学術講演会 2023 年 4 月 21 日
- 3) 実地医家が知っておきたい皮膚疾患への対応
浅越 健治
御津医師会学術講演会 2024 年 2 月 16 日